

5月になりました。色鮮やかな花々に加え、緑萌える木々の様が目に飛び込んできます。併せて我が家の庭では雑草が日増しに勢いを増しています。3週間ほど前に今年最初の草刈りをしたのですが既に原状回復の状態です。その様に虚しさを感じています。いよいよ雑草との本格的な闘いの季節を迎えました。他方でこの季節は茶摘みの季節でもあります。連れ合いの実家は代々、茶園業を営んでいます。昔ほどの広さではありませんが、この時期になると茶摘みをします。親戚の手伝いを得ての作業はこの季節の一大行事です。まさにこの便りのタイトルである「結」の体現とも言えます。先日、天候を気にしながら無事に今年の茶摘みを終えることができました。の下先日、空の

さて、先日、還暦を迎えた教え子たちの同窓会に案内されました。還暦の教え子と古希を迎えた教師の再会です。彼らとはわずか11歳の違いです。この歳に及ぶとどちらが生徒でどちらが教師か見当もつない変わりように互いにお腹を抱えて大爆笑です。変わり果てた姿ではあるのですが、不思議なことに会話を交わすほとんどの教え子の名前が口を突いて出てくるのです。記憶力の退化は紛れもなく進んでいるはずなのですが。それほど初任地での3年間の出会いは鮮烈だったのでしょうか。おかげで40数年前の生徒と先生にタイムスリップして心地良く、楽しい一時を過ごすことができました。そして、私にとって幾つになっても生徒と教師として永遠に変わらない関係は大切な財産であることを実感しました。一堂に会する機会はこれが最後かもしれません。

地域学校協働活動を通して関りを得た子供たちとボランティアの方々の関係にも将来このような関係が芽生えるといいな～と願いながらそれぞれの学校での地域学校協働活を見守りたいと思います。

いよいよ活動が始まりました

連休明けの7日(木)、花園小学校の玉葱収穫に出かけました。昨年11月に3～4年生で植え付けた玉葱です。やや小振りではありましたが各学年とも一輪車2杯分の収穫があり、子供たちも満足そうでした。感想発表では、「今日、収穫した玉葱でシチューを作って食べたいです。」、「こんなにたくさん玉葱がとれてよかったです。」等の声を聞くことができました。花園小学校の栽培活動は、坂崎公民館長(兼推進員)と地元農家の那須さんに尽力いただいています。玉葱収穫後の畑は近々、那須さんが耕運機を持ち込まれて1年生が植え付けるさつま芋畑に代わるそうです。



今月は21日(火)に第1回地域学校協働活動推進事業運営委員会を開催して今年度の活動方針について審議いただく予定です。また、今月から来月初旬にかけてコミュニティ・スクールである各小中学校で第1回学校運営協議会が開催されます。

地域学校協働活動は、学校と地域が連携・協働して双方向で取り組む活動です。